



向上無限

校訓 生徒一人ひとりの可能性は無限大!



学校便り
校長 仲盛 康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学舎』

平和教育講演会 新里清明さんから学ぶ!

本校では、毎年平和教育講演を実施しています。沖縄戦の歴史的事象や現在の世界的紛争などを知ることで命の尊さ、平和の大切さを考え二度と悲惨な歴史が繰り返されることのないよう世界の恒久平和を願う心を育てることがねらいです。去る六月二十二日にオンラインによる各教室での講演会を実施しました。講師はデザイナー&アーティスト 本校卒業生の新里清明さん(二十六期生)。

今回の目玉は、講師を学校に招き、放送委員の生徒との対談、対馬丸関連の動画活用等のオンラインによる講話。戦争体験者や語り部ではないが対馬丸事件と深い関わりのある若者の対談という新しいスタイルの平和学習。ホンモノから学ぶ事はとても大切だと思えました。生徒の感想に感涙していましたよ。

また、新里さんから展示会のご案内がありました。
七月一日〜一八日 OPA 二階、七月二日〜二五日 PARCO
アートで伝える展示会「海からの手紙」
家族と相談して緊急事態解除後にもどうぞとのことでした。

祖父に託された思い胸に 対馬丸遺族の孫 新里清明さん



城北中学校の生徒に向け「自分を愛すること」の大切さを説く新里清明さん＝22日、那覇市首里石嶺町の同校

2021(令和3)年6月23日(水) 琉球新報

対馬丸遭難者遺族会 清明さんは対馬丸事件で母の長子新里清明さんの孫、新親と妻の家族全員を失った清明さん(36)は22日、母が亡くなった子も全員が、後妻との間に生まれた

母校・城北中で講演

城北中学校の生徒に向け「自分を愛すること」の大切さを説く新里清明さん＝22日、那覇市首里石嶺町の同校

子には「清を付けず、孫の清明さんにだけ清の付く名を授けた。清明さんは祖父から託された思いを胸に「自分を愛してあげて」と生徒にメッセージを送った。

清明さんは戦時中、校長として疎開を促進する立場にいて、率先する意味を込めて家族を対馬丸に乗せたという。戦後は記録や証言をまとめた「あの学童疎開船対馬丸」を著すなど、悲劇を伝え続けた。

一方、清明さんには体験を話すことがなかった。清明さんは2014年に対馬丸遭難者の慰霊碑「小校の塔」を訪れ、「清」の名が付く祖父の子らの刻銘を見て「ちゃんと生きて」と言われていたようで涙が止まらなくなったという。

清明さんが自身の思いを話すのは初めて。対馬丸の悲劇を伝えるだけでなく、国内の自殺者が2万人いることを「心の戦争」と表現し、命の大切さ、自分を愛することの重要性を訴えた。

講話は放送部の3年生、篠崎めいさんと岩井さくらさんが進行役を務め、その様子を全学年に配信した。

篠崎さんは「他国に比べ日本は平和だと思っていたけれど、『心の戦争』を考えると平和とは言えないと思った。自分を愛するって、自分らしく生きることを意識したい」と話した。

島唄 宮沢和史

でいごの花が咲き、(一九四五年四月一日 春が訪れ)
風を呼び 嵐が来た(沖縄本島に米軍が上陸した)
でいごの花が咲き、(テイブの花が咲く四月から六月)
風を呼び 嵐が来た(米軍の侵攻が続いた)

ウーシの森で (サトウキビ畑で)
あなたと出会い (出会ったあなた)
ウーシの下で (ガマ、防空壕の中で)
千代にさよなら (永遠のお別れをした)

島唄よ 風はのり (島唄よ 海に向かう木上まで届けて)
島と共に 海を渡れ(七十年た人々の魂を沖縄の海へ)
島唄よ 風はのり (島唄よ 海に向かうのニライカナイまで)
届けておくれ (届けておくれ)

わたしの涙 (七十年た人々の魂と 私を思ふ)

でいごの花も散り (一九四五年 夏 たんごん命が散った)
さよ波が中れただけ (今何あの悪夢が夢のように静かだ)
さよやかな幸せは (幸せな日々を生かす)
うたのため波の花 (はかなく消え去った)

ウーシの森で (サトウキビ畑で)
歌った友よ (一緒に歌い遊んだあなた)
ウーシの下で (防空壕で自決する前に)
八千代に別れ (泣きながら故郷を歌った)

島唄よ 風はのり (島唄よ 風はのり)
島と共に 海を渡れ (魂と共に 海を越えて)
島唄よ 風はのり (あの人のいるニライカナイへ)
届けておくれ 私の愛を (届けておくれ 私の愛を)

海よ 宇宙よ (海よ 宇宙よ)
宇宙よ 命よ (ああ神よ 命よ)
命よ (今 あなたを思い 永遠の平和を祈る)

このまま 永遠に夕風を

The BOOM の島唄の詩には平和を希求する内容が含まれています。